

令和7年度第2回大分県森林づくり委員会 概要

日時 : 令和7年7月31日(木) 13:30-15:30

場所 : 大分県庁新館 14階大会議室

出席者: 林委員長、田中副委員長、大平委員、長委員、横山委員、板場委員、中野委員、
綿末委員、菅委員、安仲委員、今村委員、那波委員、堺委員、中内委員

公開、非公開の別: 公開

傍聴人数: 0名

「大分県森林づくり委員会設置要綱」第4条2項による委員長、副委員長の選出
委員長に林委員、副委員長に田中委員を選出。

議事1 大分県森林環境税の概要について

第4期大分県森林環境税報告書の取りまとめ状況について事務局から説明した。

(委員の主な意見等)

○森林・林業教育指導者の活動を紹介するホームページが県にあると良い。

議事2 知事との意見交換

大分県森林環境税の今後のあり方等について、委員長から知事へ委員会の審議状況を説明し、委員と知事の意見交換を行った。

(委員の主な意見等)

○県の森林環境税の認知度が低いのが課題。

○県の森林環境税は子供たちの森林に対する理解を深めるのに役立っており、続けて欲しい。
森を守ることは川を守り、海の豊かさにも繋がるので、流域全体の保全に関しても税を使って欲しい。

○木の活用がカーボンニュートラルに大事だと県民に伝わっていない気がするので、今後展開する必要がある。

○家が建たず、木材が売れにくくなっていると聞いたので、出口対策を考え、木を使う取り組みをより進めて欲しい。

○小学生から学習をして、興味を持つことが大切なので、森林・林業教育の推進が必要。

○税收や効果を見ると、払える企業からは税をさらにもらってはとも思う。目的がわかり、効果が出るものならば、企業は税を納めても良いという意見もある。

議事3 第4期大分県森林環境税報告書について

第4期大分県森林環境税の報告書案について、前回委員会の意見反映状況や資料編を事務局から説明し、報告書の取りまとめに向けて意見をいただいた。

(委員の主な意見等)

○放置林を何とかするのが国の森林環境税の目的で、県の森林環境税は管理をしようと思う森林を未来に向かって施業するところが大きな違いと表せば良い。

○国の森林環境税に移行した事業で、実施した市町村が少ない事業は、必要だったかの検証や制度・使い道の見直しができるとう良い。

○「はじめに」の結びで、教育や人づくり、就業の部分が触れられるとう良い。

○育成した森林・林業教育指導者が何件活動して、何名が体験をしたかの記載があると良い。